

大雄小園芸部 **育てた野菜調理**

パスタでどうぞ 保護者に振る舞う

横手市大雄の市園芸振興拠点センターで農業について学んでいる大雄小学校園芸部の4～6年生12人が、育てた野菜を調理して保護者に振る舞う「グルメ大作戦」が9日、同センターで開かれた。保護者らは子どもたちと一緒に、トマトを使ったミートソースパスタなどを味わった。



自分たちで作った料理を配膳する児童（中央）

「大雄っこ園芸部」として2022年に活動をスタート。週2回、放課後に学校近くの同センターで農業の実践活動に取り組んでいる。土づくりや苗の植え付け、収穫のほか、座学や調理など幅広い活動が特徴で、23年の県種苗交換会の学校農園展で最優秀賞を受賞した。

児童はこの日、トマトやニンジンなどを使い、サラダや野菜スープ、パスタを調理。

タマネギを使った手作りドレッシングやデザートのスイカ、メロン、いちごミルクも用意し、配膳も行った。保護者らは「おいしい」「よくできている」などと舌鼓を打ち、一緒にテーブルを囲んで日頃の活動などを尋ねていた。

4年生の藤谷穂乃莉さん(9)は「友だちと協力して作業するのは楽しい。調理は大変だったけど、家族に食べてもらえてうれしい」と話した。母親の佐夜香さん(37)は、「料理も上手でおいしかった。活動を初めて見たが、楽しそうで良かった」と笑顔を見せた。(梅川正城) (令和7年8月10日(日)秋田魁新聞より一部抜粋)



児童が作った料理。ミートソースパスタや野菜スープなど